

関係者各位

政治経済学会・年次大会の延期について

令和2年2月25日

平素より政治経済学会の活動にご理解ご協力を頂き、厚く感謝申し上げます。

今般、みなさまご存知の通り、新型コロナウイルスが日本国内でも感染経路が判明しない形で広まりつつあります。特に同ウイルスに「り患」していると初期の無症状状態でも感染を広めてしまう可能性が高いという日本政府・WHOの見解を受け、そのリスクは軽視すべきものではないと考えられます。

わたくしども政治経済学会は、第11回年次大会を3月10日に予定しておりましたが、参加者のリスクを十分に低くして大会を開催することが非常に難しいと感じております。マスクや消毒剤の入手もきわめて困難になっていることもあり、とても残念なのですが、現時点でリスクをとるよりも、**年次大会を延期し、問題が収束した段階で大会を開催することといたします**。理事長の梅森直之と副理事長の小西秀樹、事務局長の多湖淳による議論の上で延期を発議し、学会理事の同意により、決定をいたしました。

なお、開催場所である早稲田大学では、同日実施予定であった大規模イベント（WOI2020）を感染症対策の一環として中止しておられます。リスクをとって大会を開催することもできるかもしれませんが、社会に責任ある対応として苦渋の判断を学会執行部として下していることをご了解いただければと思います。

今後、事態の推移を見極めて、大会開催について判断をいたします。早期に流行が収束し、大会の新しい開催日についてみなさまにお知らせできるようになることを政治経済学会として願っております。

最後に、今回ご発表予定、または討論や司会をおつとめいただく予定であった関係の皆様には、こういった結果になりましたことを、心からお詫び申し上げます。他方、事情の性質に鑑み、ぜひとも私どもの決定にご理解いただきたく、お願いを申し上げます。延期に伴うキャンセル料の負担などは学会で責任をもって対応をいたします。詳しくは事務局からの連絡をお待ちください。